

札幌社保協 FAXニュース

2009年11月19日(木)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

次回の国保・介護・
後期高齢者110番は
11月26日(木)です。

社会保障・介護はどう変わる?どう変える!

11/7に東区社保協主催の「新政権で社会保障はどう変わる?どう変える!」シンポジウムが開催され、47人が参加しました。

木下武徳北星大学准教授が「社会保障分野での新政権への期待と課題」として、民主党のマニフェストにも触れながら、新政権への期待と課題について話しました。丹呉ますみ東区社会保健支援係長は介護保険制度の説明を行いました。今英紀勤医協在宅ふしこセンター長は、09年度に介護認定調査などの改悪が行なわれた実態を説明しました。

参加者からはナショナルミニマムの考え方、障害者自立支援法の認定調査について、要介護認定を受けている人の税金の障害者控除、後期高齢者医療についてなどの質問や意見が出されました。

木下准教授は、最後に「生活保護をもっと利用しやすくしていけば、制度に対する市民の印象も変わるのではないか」と話していました。

東区社保協がシンポジウム



待機児童の解消、保育所・保育労働者の待遇改善を! 札幌保育連・保育労組が市と交渉



11/10札幌保育連絡会と保育労組は、170人が参加して市の子育て支援部と交渉を行い「最低基準撤廃」に反対する意見を国へ上げること、待機児童の解消、職員の賃金・労働条件の改善などを要求しました。

保育労組の岡書記長は、交渉後「市には保育をよくしようという真剣な姿勢が見られない。財政難を口実に責任を逃れようとしている。保育の現場では行政からあれをしろこれをしろと言われるが、お金は全然出てこない。口だけ出して、現場の切実な実態を分かっているのかと思う」と、怒りを述べていました。

何とかこの冬を越せないか...

SOS札幌東ネット が相談会を開催

雇用・暮らし・SOS札幌東ネットワークの主催で11/18、東区民センターを会場に無料相談会が行われました。生活・労働・医療・介護などのほか教育・子育て相談も行われ、31件の相談がありました。

3人の弁護士のほか、生活と健康を守る会、地区労連、新婦人、勤医協中央病院、勤医協東在宅、共産党議員事務所などから30人以上の相談員やスタッフが10時~17時まで相談を行いました。

仕事がなくなり賃金未払いもあって、具合が悪いが病院に行けないという青年や、相談して生活保護申請を行った男性、冬場は収入が減り税金や保険料の支払、借金の返済ができず、何とか冬を越せないかと相談に来た60代の男性もいました。

